



完全ワイヤレスイヤホン/ノイズキャンセリング

VICTOR HA-FX150T

¥OPEN

SPEC ●通信方式: Bluetooth Ver.5.2
●コーデック: SBC、AAC ●ドライバー構成: 6mmダイナミック型1基 ●連続再生時間: 9時間(ケース込み21時間)※NC OFF時 ●質量: 約4.4g(イヤホン片側)、約29.2g(充電ケース) ●付属品: スパイラルドットProイヤークーピース(S/MS/M/ML/L)、充電用USBケーブル



Life style VGP
2023
SUMMER

金賞

Bluetooth
完全ワイヤレスイヤホン/
ノイズキャンセリング
(1.5万円以上2万円未満)

ビクタースタジオ音質監修TWSが進化

機能追加でパワーアップ 本格仕様EQで音も自在

スタジオエンジニアが音質を監修した完全ワイヤレスイヤホン「HA-FX150T」が、アップデートにより新機能を追加しました。注目はパラメトリックEQの実装で、エンジニア気分になりながら、音楽の魅力を深く掘り下げる楽しさを味わえます。

進化したポイント

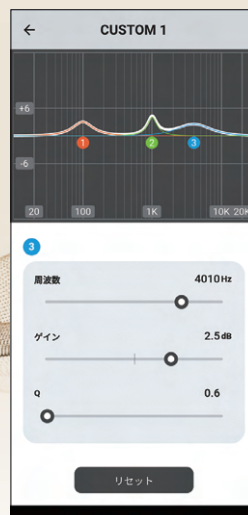


「プロの音」に触れつつ 音楽の魅力を掘り下げられる

VGP審査員 山本 敦

2期連続でVGPアワードの金賞を受賞した本機は、ビクターのラインアップのなかだけでなく、近年発売された同価格帯の完全ワイヤレスイヤホンのなかでも特別に面白い製品です。数々の名曲が生まれるビクタースタジオのエンジニアが監修した「プロの音」に触れられるモードを備え、なおかつモバイルアプリ「Victor Headphones」のイコライザー機能を使いこなせば、本機のユーザーがプロの音に迫ることもできます。本機が対応するアプリのイコライザーは、周波数とゲイン、Q値(帯域幅)を決められるパラメトリックタイプであることからカスタマイズ性がとても高く、調整した値を3件まで保存して楽しめます。エンジニア気分になりながら、いつものお気に入りの音楽の魅力を深く掘り下げる楽しみは、このイヤホンでしか味わえません。

今春にビクターは本機に新しい機能を追加するアップデートを行いました。先に触れたカスタムイコライザー機能のほか、イヤホンのタッチキー操作をユーザーが覚えやすいように設定し直したり、ハンズフリー通話時に自分の声の“返し”を聞きながら自然な会話ができるサイドトーンの機能などが新たに加わっています。外音取り込みは音楽の音量とのバランス調整も可能になりました。音楽制作と音響機器、両方のファンに長く寄り添ってきたビクターらしい心配りを感じる進化です。筆者は本機の、真っ向勝負の姿勢で「原音探究」を追求するリアリティに富んだサウンドが好きです。どんな音楽にも合う、本機の“いい音”をぜひ楽しんでください。



パラメトリックEQで 音を自在に操れる

アップデートにより、アプリでパラメトリックタイプのカスタムイコライザーが利用できるようになりました。ブースト/カット(増減)するポイント(周波数)を自由に設定でき、その増減の幅の広さ(Q)と増減の大きさ(ゲイン)をコントロールすることで、音質を自由に調整することができます。



タッチキーの割り当てでも 自分仕様に変えられる

タッチキーの操作カスタマイズも可能に。プレイ/ポーズやボリュームのアップ/ダウンなどの基本操作から、ノイズキャンセリングやサウンドモードの切り替えまで、利き手などに応じて自由に割り当てられるようになりました。音楽リスニング(両耳/片耳)および通話時(両耳/片耳)という4つのシーンごとに割り当てを設定できるのも魅力です。